

## 1. 令和2年度事業計画

女子剣道の普及と質の向上を図る。

- (1) 女子剣道指導者の育成及び指導力の向上や女子審判員の育成及び技能向上を図る。
- (2) 指導部会並びに試合・審判委員会との連携及び指導を得ながら、指導者講習会及び女子審判講習会においての女子講師の育成を図る。
- (3) 女子剣道の普及・推進を図るために、全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会出場枠増への実施を計画するなど、魅力ある女子大会の改革を図る。
- (4) 子育て中の女性剣道の普及を図るため、女性が参加しやすい大会や講習会時の支援方策を検討する。
- (5) 女子剣道の普及と質の向上を図るため、広報活動を活性化させる。

## 2. 事業報告

- (1) 女子の指導力向上の一環として、「幼少年指導における初心者指導」の指導計画を進めた。
- (2) 令和2年度全日本女子剣道選手権大会での視察を参考に女子審判員の課題が共有された。
- (3) 新型コロナウイルスの影響で、審判講習会や指導者講習会が実施されなかったため次年度、継続して取り組むことにした。
- (4) 令和4年度全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会の選手出場枠増（7人制）に向けて検討した。
- (5) 令和3年度全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会より、保育士常時滞在により保育室及びキッズルームを設置することができた。
- (6) 「昇段審査受審に向けた修練の視点」を作成し「剣窓」「全剣連HP」に掲載した。
- (7) 全日本女子選手権大会入賞者にインタビュー形式で取材し、「全剣連HP」に掲載した。

## 3. その他の報告

- (1) 6段7段8段審査会に出席し、それぞれの審査の様子や感想等を報告し、共有した。
- (2) 中央講習会にて女子委員会の活動を発表し、各都道府県剣道連盟に女子委員会の設立を依頼した。
- (3) 中央講習会以前に、各都道府県剣道連盟宛に「幼少年指導の実態について」のアンケートを依頼し、その中での女性の実態や役割及び女性に期待することなどを調べた。

#### 4. 令和3年度 事業計画

各委員会との連携を図りながら、女子剣道の普及と質の向上を図る。

- (1) 女子剣道指導者の育成強化及び指導力強化並びに女子審判員の育成強化及び技能強化の向上を図る。
- (2) 女子剣道指導者講習会及び女子審判講習会において、女子講師として参画できる体制を図る。
- (3) 女子大会の魅力を高めるために、全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会選手出場枠増（7人制）への実施計画を進める。
- (4) 女子剣道の将来を担う子育て層のために、大会や講習会開催時に保育室を設置するなど、参加しやすい環境づくりを進める。
- (5) 女子剣道の普及と質の向上のため、広報活動の活性化を進める。

全剣連女子委員会による各都道府県剣道連盟へのアンケート「幼少年指導の実態」結果報告

調査時期:2021年3月

調査対象:各都道府県剣道連盟

1 女性指導者について良かった事

- (1) 男性指導者が気づかない幼児や低学年の指導(特に道着・防具の着装など)きめ細かい配慮がなされる。
- (2) 幼少年の指導または保護者との関わりなど、女性の指導者であるとスムーズに伝わりやすい点がある。
- (3) 女性の方がこどもの気持ちや体調の変化など細かい配慮ができる。
- (4) 保護者が相談しやすく、また保護者に安心感を与えることができる。
- (5) 男性のみの指導より、女性が関わるようになってから、子ども達がイキイキしている。また、稽古会に活気が出てきた。
- (6) 剣道連盟の理事に女性を初めて起用し、女性理事から各団体の女性剣士へ行事参加の「声掛け」をしてもらったことがあり、参加率も上がり大変良かった。
- (7) 男性指導者のみだと、少し怖いと思って見学だけで終わることが多かったが、女性指導者が一人でもいることで、少しやわらかいイメージになり、見学して入会する子が増えてきたかなと思う。
- (8) 子育てを経験しているからこそ、幼児や低学年の興味付けに優れている。子ども目線に立ち指導ができ、行き過ぎた指導は少ない。幼少年指導に於いて、女性指導者は今後の剣道の伝承と発展に必要不可欠である。

2 女性指導者に期待する事

- (1) 剣道を続ける女性が少ないので、継続や復帰が増えることを期待する。また、女性指導者が増えることに期待する。
- (2) 女性の7段戦や女性高齢者大会の開催と配信を期待する。
- (3) ママさん剣士がもっと活躍できる環境を期待する。
- (4) 少年少女会員を増やすためにも、女性の指導者は不可欠。しかし、家庭における女性の役割についての見直しを行い、家庭との両立ができるよう環境作りが必要である。
- (5) 幼少年指導は、子どもの特性を良く理解し、個性を見極め対応できる指導者であることが求められる。特に初心者は、出会った指導者の関わり方により、剣道に対する意欲に影響力を及ぼすと考えられる。よって剣道界の未来のため、生涯剣道の達成に向けるためにも、幼少年剣士の育成に携われることのできる女性指導者の育成等に期待する。
- (6) 女性が主となる講習会の開催など積極的に活動していますが、家庭との両立が難しいので、幼少年への指導を任せる状況が少ないのではないかと思う。
- (7) 女性指導者の活躍する場を充実するよう努めて参りたいと思いますので、全剣連女子委員会からの情報発信など積極的な取り組みを期待する。

## ～子供とともに剣道の魅力に迫る～

1. 目的 (1) 女子指導者の資質向上を図り、幼少年剣道の活性化に資する。  
(2) 各9ブロック都道府県における女子剣道指導者の交流を深め連携を図る。
2. 期日 令和4年2月26日(土)・27日(日) 12時30分 開講式  
※緊急事態宣言が発令された場合は中止または延期とする。
3. 会場 栃木県立新武道館(コウケイ武道館)  
宇都宮市西川田4丁目1-1 TEL 028(684)2200
4. 主催 公益財団法人 全日本剣道連盟
5. 実施方法 全国9ブロックを(北海道・東北・関東・北信越・東海・近畿・中国・四国・九州)  
令和3年度～令和6年度(4ヵ年)で実施する。
6. 役員・講師 全剣連役員(2名) 講師・普及委員会講師(1名) ・指導育成委員会講師(1名)  
女子委員会講師(4名) ・医科学委員会講師(1名) ・憧れの有名選手男女(4名)
7. 受講対象 (1) 剣道五段以上の女性約80名  
※受講人数内訳：各都道府県剣道連盟推薦による、関東8都道府県10名程度(日帰り)  
2日目の幼少年指導見学及び元立ち稽古等は自由参加とします。  
※講習会参加者の交通費は参加者負担  
(2) 主管剣道連盟の地元少年少女剣士60名程度(日帰り保護者送迎)  
(3) 初心者体験20名～30名程度地元の幼少年(日帰り保護者送迎)
8. 9ブロック会場 ※ ( ) の会場(令和4年度以降の会場は未定)  
・令和3年度…①関東ブロック(宇都宮市) ※コロナ禍での実施のため  
・令和4年度…②九州ブロック( )市 ・令和4年度…③東北ブロック( )市  
・令和5年度…④北信越ブロック( )市 ・令和5年度…⑤北海道ブロック( )市  
・令和5年度…⑥近畿ブロック( )市 ・令和6年度…⑦四国ブロック( )市  
・令和6年度…⑧東海ブロック( )市 ・令和6年度…⑨中国ブロック( )市  
※講習内容については、会場の都合により変更することがあります。
9. 保育施設設置(1室)：保育士(2名)配置
10. 講習会参加者の募集方法  
(1) 各都道府県剣道連盟に依頼  
(2) 各都道府県の女子代表者による全国リモート会議で趣旨説明  
(3) 主管剣道連盟依頼①幼少年剣道参加希望者募集  
②初心者剣道体験希望者募集
11. 講習会参加料等  
・参加料は無料、参加者の障害保険については全日本剣道連盟が負担する。

12. 幼少年女子ブロック別講習会日程

		1日目(土)	2日目(日)		
12:00		集合・受付 講師、受講生は剣道着・垂で開講式	開場:集合・受付 ※講師・少年少女は剣道着・垂で集合	8:40	
12:30 (10分)		◎開講式 ・全日本剣道連盟役員挨拶(1名) 女性指導者への激励	◎2日目開始式 ・全日本剣道連盟役員挨拶(1名):幼少年への期待	9:00 (10分)	
12:40 (20分)		◎講話1 :女性指導者への期待 ・普及委員会講師(1名)	◎講話3:剣道の魅力 ・憧れの有名選手(男子2名)(女子2名) ※一人3分間スピーチ ※質問コーナー(少年1名:少女1名)	9:10  (30分)	
13:00 (20分)		◎講話2 医科学的見地から女子剣道を考える ・医科学委員会女性講師(1名)	「①ワークショップ 初心者剣道体験」 ・有名選手 (男子1名)(女子1名) ・女子委員会講師 (2名) ※4グループ	9:40  (40分)	②少年少女剣士 ・基本稽古 ・有名選手(男子1名) (女子1名) ・普及委員会講師(1名) ・女子委員会講師(2名)
13:20 (15分)		休憩(15分)			
13:35 (40分)		◎指導法1 ・幼少年剣道の段階的指導 基本動作 手刀→竹刀 体さばき(足さばき・送り足) ・女子委員会講師(2名)		10:20 (15分)	
14:15 (15分)		休憩(15分)		10:35	
14:30 (40分)		◎指導法2 ・指導法 ・基本稽古 ・指導育成委員会(1名) ・女子委員会講師(2名)	◎少年少女剣士合同稽古 ・全講師元立ち ・指導育成委員会講師指導(1名) ・女子委員会(2名) ・有名選手(4名)  ※初心者は女子委員会(2名)元立ち  打ち込みの体験	(30分)	
15:10 (40分)		休憩(10分)		11:05 11:15	
16:00 (20分)		◎女子受講者指導稽古 ・全講師元立ち	◎閉講式 ・全日本剣道連盟役員挨拶(1名) ・憧れの有名選手お礼の言葉 (男子1名・女子1名) ・少年少女剣士用アンケート提出 ・解散	(15分)	
16:30		◎質疑応答 ・普及委員会講師(1名)・全講師 ◎閉講式・全日本剣道連盟役員挨拶 ・アンケート提出 ・解散		11:30 12:00	

## 70周年記念 全日本都道府県女子優勝剣道大会について

### 1 選手構成について（7人制）

- (1) 先鋒 高校生
- (2) 次鋒 大学生
- (3) 五将 18歳以上（高校生・大学生は除く）
- (4) 中堅 30歳以上
- (5) 三将 30歳以上
- (6) 副将 40歳以上
- (7) 大将 50歳以上

※ 職業は問わない。

※ 選手の登録は、年齢順にする。

※ 代表者戦は最後に引き分けた選手により行う。